

パイオニアが19/3期第2四半期決算を発表—スポンサー支援協議の進捗・帰すうを注視

以下は、パイオニア株式会社（証券コード：6773）が19/3期第2四半期決算を発表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は11月7日、19/3期第2四半期決算を発表した。第2四半期累計の営業損益は16億円の赤字、最終損益は99億円の赤字となった。最終損益の通期予想はOEM分野の改革を含む経営改善施策による影響額が確定できないため、引き続き、開示は留保された。一方、第1四半期決算に続いて、継続企業の前提に関する注記が記載された。これは、18年9月12日にスポンサー支援で基本合意したベアリング・プライベート・エクイティ・アジア傘下のKamerig B.V.（本件ファンド）との正式契約締結が当初の予定（同年10月末日）から遅れていることに起因するものである。なお、19/3期中に返済期限が到来する取引銀行からの借入金に対して、同年9月18日に本件ファンドから250億円の融資を受けている。
- (2) 正式契約締結の遅れにより、本件ファンドによる総額500～600億円の当社への出資は遅れる公算が大きいものの、現時点では出資が行われる前提でJCRは格付を付与している。このため、仮に本件ファンドによるスポンサー支援が成されなかった場合、当社信用力は大きく低下することになる。JCRはスポンサー支援協議の進捗・帰すうに加え、経営改善施策の内容、業績・財務の方向性などを確認した上で適宜格付に反映させていく。

（担当）関口 博昭・川越 広志

【参考】

発行体：パイオニア株式会社

長期発行体格付：#BB+/初ティア

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル